

令和元年（2019年）8月26日

教育振興課 教育振興担当

担当者 梶山、角町

内線 3412、3407 直通：0952-25-7424

E-mail:kyouiku-shinkou@pref.saga.lg.jp

令和元年度「教育ボランティア活動」を実施しています

県教育委員会と佐賀大学教育学部は、平成17年から連携・協力に関する協定に基づき「教育ボランティア活動」を行う学生派遣事業を実施しています。

この「教育ボランティア活動」は、県内公立小・中学校、県立特別支援学校が佐賀大学の教員志望の学生を「教育ボランティア」として受け入れ、授業や学習の補助など学校の様々な教育活動を経験してもらうことで、子どもたちや教育現場をより深く理解した教員を育成するとともに、学校においては児童生徒へのきめ細かな指導の充実や、学校の活性化等を図ることを目的としています。

つきましては、今年度の活動を下記のとおり8月7日から実施していますので、お知らせします。

なお、「教育ボランティア活動」は、今年度で15年目の取組となります。

記

1 実施期間

令和元年8月7日（水曜日）～9月30日（月曜日）

※ 10月以降は、学校と学生で派遣の継続について個別に協議してもらいます。

2 派遣学校数・件数・人数（予定）

	小学校	中学校	特別支援学校	合計
派遣学校数	33校	17校	4校	54校
派遣件数	40件	19件	4件	63件
派遣人数	133人	65人	8人	206人

※ 詳細については、別添資料を御参照ください。

3 主な活動内容

- 長期休業中の学習指導の補助
- 学期中の学習指導の補助
- 運動会・体育大会の補助
- 特別な支援を必要とする児童生徒への学習指導の補助 等

裏面へ続く→

4 昨年度の派遣校やボランティア学生の声（事業の効果）

関係者それぞれより次のような声が寄せられました。

（学生）多様な子供たちを支援するのは大変気力がいると感じましたが、学校の先生方の様子を見て、どのように声かけをしたらいいのかわかってきました。

（児童生徒）質問したら、わかるまで熱心に教えてくれた。

（教員）新学期が始まり、学校生活のリズムに慣れていこうとする児童にとって、明るく接し、励ましや賞賛の声をかけてくれた教育ボランティアの存在は貴重であった。

5 その他

- 各学校で行われる教育ボランティア活動について取材される際は、事前に各学校へ連絡してください（連絡先は別添資料参照）。
- 県教育委員会は佐賀大学教育学部、佐賀大学大学院学校教育学研究科と教育ボランティア活動を含めた「連携・協力事業」に取り組んでいます。

【参考】佐賀大学との連携・協力事業の概要について

（連携・協力協定の締結日）

平成 17 年 1 月 18 日 佐賀大学文化教育学部、佐賀県教育委員会の 2 者で締結

平成 28 年 5 月 16 日 佐賀大学教育学部、佐賀大学大学院学校教育学研究科、佐賀県教育委員会の 3 者で締結

（事業目的）

佐賀大学教育学部、佐賀大学大学院学校教育学研究科及び佐賀県教育委員会が相互に連携・協力することにより、教員の養成及び資質の向上、学校教育上の諸問題への対応及び生涯学習の推進を図り、もって佐賀県の教育の充実・発展に寄与すること。

（令和元年度の事業について）

- 連携・協力協議会
 - ・教員養成研修改革協議会
- 教員養成専門部会
 - ・教育ボランティア活動
 - ・「教職実践演習」の実施と教員養成カリキュラムの見直し
- 教員研修専門部会
 - ・中堅教諭等資質向上研修等研修機会の多様化
 - ・理科指導力向上研修プログラム
 - ・教員の自主研修会
 - ・特別支援教育・教育相談の教員研修に関連する事業
- 教育課題研究専門部会
 - ・児童生徒の活用力向上研究指定事業及び小中連携による学力向上推進地域指定事業
 - ・ICT利活用による学校支援
 - ・いじめ防止調査研究事業
 - ・教師力・学校力向上に資する実践研究
- 教職大学院専門部会
 - ・実践的指導力向上事業
 - ・学び続ける学校トップリーダーの資質向上事業
 - ・特別支援教育・教育相談の教員研修に関連する事業